令和4年度

決 算 報 告 書

自 令和 4年(2022年) 4月 1日

至 令和 5年(2023年) 3月31日

公立大学法人熊本県立大学

令和4年度 決算報告書

公立大学法人熊本県立大学

(単位:千円)

区分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算一予算)	備考
収 入 運営費交付金	1, 557, 167	1, 532, 031	△ 25, 136	(注1)
自己収入	1, 332, 237	1, 373, 089	40, 852	(,_ ,,
授業料収入	985, 167	1, 000, 773	15, 606	(注2)
入学金収入	125, 507	116, 377	△ 9, 130	(注3)
検定料収入	41, 489	31, 504	△ 9, 985	(注4)
受託研究等収入	104, 094	134, 941	30, 847	(注5)
寄附金収入	10, 702	11, 463	761	(:) (:)
補助金等収入 雑収入	17, 915 47, 363	43, 555 34, 476	25, 640 △ 12, 887	(注6) (注7)
	208, 925	81, 346	△ 127, 579	(注8)
計	3, 098, 329	2, 986, 466	△ 111, 863	()10)
支 出				
教育研究経費	2, 215, 179	2, 126, 786	△ 88, 393	(注9)
一般管理費	779, 056	701, 901	△ 77, 155	(注10)
受託研究費等	104, 094	137, 490	33, 396	(注11)
計	3, 098, 329	2, 966, 177	△ 132, 152	
収入一支出	0	20, 288	20, 288	

[※] 決算額及び差額は、それぞれの欄の金額を個別に円単位まで算出し、その結果を千円未満の単位で四捨五入して表示していますので、合計金額と一致しない場合があります。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、修学支援法による授業料等減免分が予算上の見込に比較して減免該当者が少なかったこと及び新型コロナウイルスの影響による海外交流事業の縮小等により、決算額が25,136千円少額となっております。
- (注2) 授業料収入については、修学支援法による授業料減免の実績減により、予算額に比較して受入額が上回ったこと 等により、決算額が15.606千円多額となっております。
- (注3) 入学金収入については、県内出身入学者数が予定を上回ったことにより、決算額が9,130千円少額となっております。
- (注4) 検定料収入については、予定していた受験者数を下回ったため、決算額が9,985千円少額となっております。
- (注5) 受託研究等収入については、予定していた受入額を上回ったため、予算額に比して決算額が30,847千円多額となっております。
- (注6)補助金等収入については、予定していた受入額を上回ったため、予算額に比して決算額が25,640千円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、科研費受入実績の減による間接経費収入の減や、新型コロナウイルスの影響による公開講座の開催減による受講料収入の減等により、予算額に比して決算額が12,887千円少額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については将来の支出に備えた目的積立金の取崩を極力抑制したことにより、予算額に比して取崩額が下回ったため、決算額が127,579千円少額となっております。
- (注9)教育研究経費については、入札によって工事等の契約額が予定価格を下回ったことや、オンライン授業実施による非常勤講師旅費の減等により、決算額が88,393千円少額となっております。
- (注10) 一般管理費については、人件費の減や各種節減等により、予算額に比して決算額が77,155千円少額となっております。
- (注11) 受託研究費等については、契約額の増により予定していた支出額を上回ったため、予算額に比して決算額が 33,396千円多額となっております。